

11. 沖縄（地域別調査機関：（財）南西地域産業活性化センター）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなる やや良くなる	百貨店（担当者）	・主力衣料が継続的に順調に推移していることから、7、8月においても比較的好調を維持する。但し中元ギフトにおいて一部の商品群が3、4月の天候不順による不作の影響で品薄状態になっており、ギフト商戦に2～3%ほど影響を及ぼす。しかしながら6月同様に主力衣料の好調が維持されれば、店舗全体としての影響はさほど大きくはならない。
		スーパー（財務担当）	・今年の旧盆が8月中旬ということで、売上が上がると見込まれる。
		コンビニ（エリア担当）	・6月は記録的な大雨で、売上構成比の高い飲料に影響が出ている。今後は天候、気温で大きな変化がない限り、6月よりは良くなっていく。
		コンビニ（経営者）	・観光客が増加しているうえ、夏祭りが近隣で催されるので、やや伸びる。
		家電量販店（従業員）	・「暑くなれば」という条件付きではあるが、今の客足の好調さからすれば景気は良くなる。これから夏場に向けて、夏物商品である冷蔵庫、エアコンの売行きが堅調に推移していけば、景気はかなり良くなる。
		その他専門店〔楽器〕（経営者）	・去年は台風が多かったが観光客が多かった。台風が少なければ一気に景気も回復する。
		観光型ホテル（営業担当）	・海外旅行の好調さや愛知万博の影響等が心配されたが、予約状況は前年比でもまずまずである。
	ゴルフ場（経営者）	・ゴルフコースの質の向上を以前より進めており、その件が周知されつつあるので利用人数、単価の増加が見込まれる。	
	変わらない	スーパー（企画担当）	・競合与件も落ち着き、ここ数か月は売上高、客数ともほぼ前年並みに回復していることから、しばらくはこの状態が続く。
		コンビニ（エリア担当） 住宅販売会社（従業員）	・観光客は順調に推移するだろうが、それ以外のプラス要因がない。大きなマイナス要因もない。 ・マイホームを取得するメリットが薄れている。所得税の控除枠の縮小、廃止や金利の上昇基調、住宅取得減税の縮小など、マイホームを取得することで逆に負担を感じてしまうのではないかと。景気浮揚にとって現在の一戸建ての着工戸数比率の低下傾向は大きなマイナス要因になりうる。
やや悪くなる	スーパー（経営者）	・来客数、単価ともに良くなる要因が見つからず、今後は競合店の出店も予定されているため、ますます厳しくなる。	
	住宅販売会社（経営者）	・公共工事の発注の端境期になること、また民間工事の発注がそれほど活発でないこと等から、景気はますます悪くなる。	
悪くなる	商店街（代表者）	・商店街は個店の集まりであり、客へのサービス体制がなかなかとれず、命令一つでできる大型店とは違い、共同体として難しい状況である。商店街の店はこれからも悪くなる。	
企業 動向 関連	良くなる やや良くなる	-	-
		建設業（経営者）	・引き合い件数及びモデルハウスへの来客数が増加している。
		輸送業（総務担当）	・新規業務が絶えず増えている。原油高騰での軽油の値上がりはコストの負担になっているが、荷主へ転嫁できずに厳しい状況ではある。ただし新規での業務でその分はカバーできている。
	変わらない	通信業（従業員）	・単価が落ちる分を量でこなせば現状を悪化させる事は防げるが、量を確保できるかという問題も出てくる。量のカバーには限界もあり、付加価値や新事業への展開も視野に入れる必要があるだろう。とはいえその効果は2～3か月より長い期間の中で考え実行するものであり、当面の景気としては大きく変わることはない。
		通信業（営業担当）	・既存ユーザーの伸びの鈍化と新規ユーザー獲得で一進一退が続く。
やや悪くなる	輸送業（営業担当）	・全般的に荷動きが鈍くなっており、景気は幾分か悪くなる。	
雇用	悪くなる	-	-
	良くなる	-	-

関連	やや良くなる	人材派遣会社（経営者）	・派遣の営業を強化したわけでもないのに派遣依頼が増えて いる。今まで付き合いの無い所からも問い合わせがある。派 遣の形態が沖縄の中小零細企業でも雇用手段として検討さ れるようになり、これからもっと伸ばせる。
		学校〔専門学校〕（就 職担当）	・今後もIT関連を中心として県内の他業種企業も安定した 求人獲得が予想される。
	変わらない	求人情報誌製作会社 （営業担当）	・観光関連の求人が期待ほど良くない。全般的に変化がな い。
		職業安定所（職員）	・5月の新規求職申込件数5135人で、前年同月比で10.9%の 減少である。紹介件数は6798人で前年同月比16.6%の増、月 間有効求職者数は20332人で、前年同月比7.9%増である。就 職件数は1202人で前年同月比8.0%減である。県外就職者数 は282人で前年同月比44.4%減である。また求職者は滞留し 再就職が厳しい。特に新規求職者申込件数において主婦層を 中心としたパート求職者は増加したが、雇用保険受給者及び 県外希望の求職者が減少している。今後も改善の動きがみら れるが求職、求人とも増加傾向で推移していく。
やや悪くなる			
悪くなる		-	-